東郷町の男女共同参画の充実に向けて

若園ひでこ　議員

【問】11月の産業まつりに、いこまい館ロビーで、東郷町での男女共同参画についてアンケートが行われた。その結果は。

【生活部長】回答者は、504人。進んでいると思う15.1％、進んでいると思わない40.1％、わからない・どちらでもない44.8％であった。

【問】その結果から、把握できたことは何か。

【生活部長】「進んでいると思う」が、15.1％等から考えると、今後も普及啓発に取組んでいかなければと感じている。

【問】推進には、大切なキーポイントがある。それは、町行政が率先して男女共同参画の意識を持つことである。その一つとして、議場での行政側の席に、女性が登場するのを期待している。そのような考えはあるのか。

【町長】女性の部長職をかねてから思っている。人材育成に、しっかりと取り組んでいきたい。

男女共同参画のシンボルマーク

子どもたちの体力向上

【問】「何とかしなければいけない」とのこと。その後、考えたことは。

【教育長】中学校に視点をあてると、部活動についていけなくなった子たち、最初からやる気のない子たち、勉強も余り好きでない子たちが、オーバーラップしている現実がある。子どもたちが、活躍できる場、認められる場づくりとして、授業を見直そうと、臨んでいる。それには、発想の転換が必要だが、すぐには切り替えられない。粘り強く働きかけて行く。

****

まちづくり交付金事業について

加藤　啓二　議員

【問】平成17～21年度までの工事状況は。

【経済建設部長】平成20年度までの事業は道路9路線、公園1カ所、兵庫児童館建設、涼松土地区画整理事業の調整池築造。21年度は道路6路線、公園2カ所を工事中。

【問】今後の地区計画は。

【経済建設部長】現在、三ツ池、牛廻間、白土涼松の3地区がある。また傍示本地区で土地区画整理事業に向けて検討している。

【問】まちづくり交付金事業の評価は。

【町長】地区住民の利便性や防災面も格段に向上。住宅戸数も増加し土地利用も図られ、本事業の成果は十分にあった。

整備された公園

災害予防計画について

【問】消火器の事故が多発しているが。

【総務部長】広報で事故防止の啓発活動をする。

【問】防災名簿の把握状況は。

【総務部長】個人情報の関係で進んでいない。災害時要援護者、地区避難者の情報の一元的な管理・運用が重要課題だ。

【問】防災組織の充実をはかるには防災リーダーの育成が必要では。

【総務部長】災害時において、地域自主防災組織の存在は欠かせない。自主防災組織の強化が重要。リーダーの育成はまだ不十分だと認識している。地区の防災力を高めるに、地区防災活動の柱となる人材育成の方法を検討したい。

一般質問